

報道関係各位

2020年6月30日
株式会社 PR TIMES

コロナ禍の観光に見える 20 の兆し『観光復興ガイド』を公開 旅行者の“新しい価値観”に応える観光業の皆様へ

- ガイド活用に関する無料セミナーをオンライン開催します -

株式会社 **TBWA HAKUHODO**（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO: 今井明彦）と、株式会社 **PR TIMES**（本社：東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証一部：3922）、一般社団法人 **FUKKO DESIGN**（本社：東京都渋谷区 代表理事：河瀬大作）は、コロナ禍で深刻な打撃を受けている観光業界に向けて、SNS 上の旅行に対する価値観の激しい変化を分析し、そこから見えた 20 の新たな兆しとその後の打開策をまとめた『新しい時代に対応する観光復興ガイド - SNS から見える企画のタネ -』を発表しました。この先、観光業者が旅行者に対して、中長期的に何を提供していくべきかなど、観光業を盛り上げるためのヒントを示します。本ガイドはご覧いただくことはもちろん、出典表記をしていただければレポート内容を自由に活用いただけるものとなっています。



『新しい時代に対応する観光復興ガイド - SNS から見える企画のタネ -』

資料ダウンロードはこちらから：

http://www.tbwahakuhodo.co.jp/uploads/2020/06/200630_kankofukko_guide.pdf

※出典表記をいただければ、資料の全部または一部を企画書などにご利用いただけます。

観光復興ガイドにお問い合わせはこちらから：<https://tayori.com/form/1f61d1cb9347684bfbfb6a3e99a78ab8de4b4a99>

新しい時代に対応する観光復興ガイド - SNS から見える企画のタネ - について

●観光復興ガイド概要と制作の背景

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、さまざまな業界が大きな影響を受けていますが、観光業界も深刻な影響を受けています。6月19日に県外への移動自粛が解除され、徐々に観光業も再開し始めましたが、感染拡大の第2波、第3派の可能性も指摘され、今後先がみえない不安な状況にあります。

そこで、SNS 分析に強みを持つ TBWA HAKUHODO より、生活者の会話を分析して戦略を生み出すマーケティング組織「65 dB TOKYO」や、コンサルティングユニット「Disruption® Consulting」などの有志が集まり、世間の観光に対する兆しを抽出した『新しい時代に対応する観光復興ガイド - SNS から見える企画のタネ -』をまとめました。昨今のコロナ禍において、SNS 上の旅行に対する価値観の激しい変化を分析し、旅行者が今何を求めているかを元に、企画を考えるヒントを提供します。

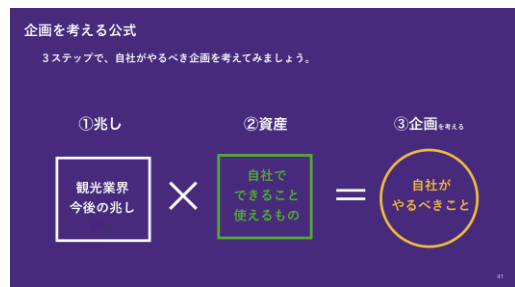
さらに、そこからすぐに具体的かつ実践的な取り組みを考えられるように『企画を考える公式』も用意しました。旅館、お土産の販売店、交通などの観光業の方々、中央官庁並びに地方自治体の観光系部局の方々、観光協会などの観光系団体の方々などがすぐに実践できる内容になっています。

旅行意欲を高める20の兆し:

ここでは、旅行に行きたい人が今、何を望み、どんな体験を求めているかを SNS の投稿をもとに理解しています。見えてきたのは「20の兆し」でした。

| | | | | |
|---------------|-----------|-------------|-----------|------------|
| 1 大自然 | 2 応援 | 3 再訪 | 4 趣味旅 | 5 旅館風景 |
| 6 検討リスト | 7 おひとり様 | 8 地元色 | 9 写真好き | 10 補助制度 |
| 11 ペット愛 | 12 コロナ貯金 | 13 下調べ | 14 パーチャル旅 | 15 ワークーション |
| 16 マイグロ ツーリズム | 17 リベンジ帰省 | 18 おこもり スタイ | 19 貸切旅 | 20 卒業旅行 |

旅行意欲を高める 20 の兆し



企画を考える公式

この兆しとタネを知ることで、素晴らしい企画が生まれ、少しでも多くのお客様が戻ることを、そして、旅行者と観光業界の皆様とがつながり、笑顔を取り戻せることを願っています。

また、「出典：新しい時代に対応する観光復興ガイド - SNS から見える企画のタネ - 」と記載いただければ転載いただいても、一部ページのみ掲載いただいても構いません。多くの方にこのガイドを活用いただけることを願っております。

さらに、実際に皆様がすぐに取り組むことができるように、本ガイドの活用方法や分析データの解説についての説明会を実施します。全国の観光業者も参加いただけるようオンラインにて開催予定です。

● 「新しい時代に対応する観光復興ガイド - SNS から見える企画のタネ - 」説明会概要

開催日時：2020年7月7日(火) 13:00~14:00

2020年7月16日(木) 17:00~18:00

※両日程とも同内容になりますが、ゲスト有識者が異なります。

開催場所：Zoom(ウェビナー/※申込者へ参加 URL をご案内します。)

費用：無料

定員上限：各回 500 名

内容：ガイドの主旨説明

ガイド解説

- 人々の旅行に対する考え方
- 旅行意欲を高める 20 の兆し
- 旅行者向けの企画の考え方

有識者ゲストを交えたトークセッション

「観光復興ガイド」PR TIMES 特別プランについての説明

申込フォーム：

7月7日(火)13:00~14:00 開催

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_NeODYHVHS-SIVGPxypf-hw

- 有識者ゲスト：ゲストハウス“WhyKumano”オーナー 後呂 孝哉氏

1989年和歌山県新宮市生まれ。大学・就職で約10年間関東で過ごし、「地元、熊野の魅力の世界へ広めたい」想いから新宮市へUターン。2019年7月、和歌山県南部・熊野エリア観光の拠点となる那智勝浦町にホテル・カフェバー「WhyKumano(ワイクマノ)Hostel&Cafe Bar」を開業。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年4月から実店舗を一時休業し「オンライン宿泊」を開始。開始から3か月で宿泊者は約400名に達する。コロナ禍以降の新しい社会の宿泊の概念をつくるべく活動中。

7月16日(木)17:00~18:00 開催

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_QM5E0FqYT2iKpThn5yDhKw

- 有識者ゲスト：PRDESIGN JAPAN 代表取締役 佐久間 智之氏

埼玉県三芳町で18年公務員を務め在職中にゴミ箱行き広報紙を独学のデザインで日本一に導き、映像・広報企画・写真部門でも入選多数。2020年退職。行政広報でまちのファンを増やす広報やプロモーション、地域デザインをサポートする傍ら、中野区と四万十町の広報アドバイザー、神奈川県テクニカルアドバイザー、早稲田マニフェスト研究所招聘研究員なども務める。著書に「バツと伝わる！公務員のデザイン術」など多数。ライターや写真家としても活動中。



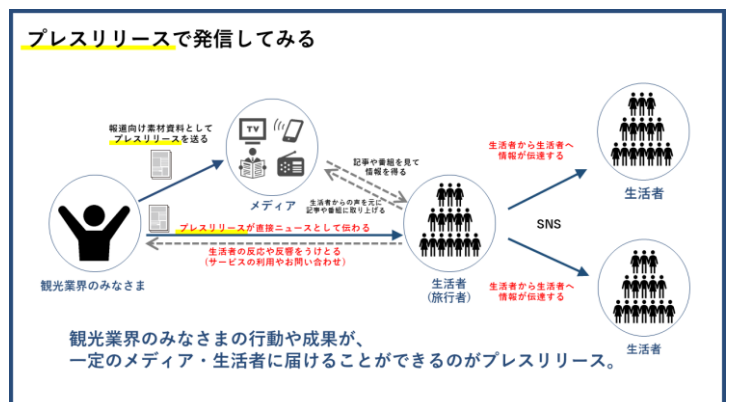
PR TIMES は生まれた企画の情報発信をお手伝いします

観光復興ガイドをもとに生まれた一つ一つの企画は、より多くの人に知ってもらうためにも世の中に発信いただくことが重要です。PR TIMES はプレスリリース配信サービスとして、多くの企業・団体や官公庁・自治体にもご利用いただいております。皆様が新たに生み出した企画の情報発信をお手伝いすることができます。

プレスリリースとして発信された情報は、メディアに届けられることで、取材や記事掲載を経て、ニュースとして生活者に届きます。さらに、プレスリリースはメディア以外の生活者にも直接閲覧されるようになっており、旅行者の訪問や、サービスの利用などに繋がることが期待できます。

今回、観光復興ガイドをもとに実施された企画のプレスリリース配信に際し、100 団体限定で無償利用いただける特別プランを設けました。

また、PR TIMES 運営のオンラインメディアより、世界中の広告・宣伝事例を紹介する「AdGang」でも、観光復興ガイドをもとに生まれた企画を取材・執筆する予定です。



●PR TIMES「観光復興ガイド」特別プランお申込み方法

受付期間：2020年6月30日(月)～2020年7月31日(金)

申込上限：100件(※1団体1件までとさせていただきます)

適用条件：お申込みURLより申請の上、下記2点を満たすもの。

①プレスリリース本文冒頭に、

『このプレスリリースで発表している企画は、「観光復興ガイド」を参考に企画されました。』と明記。

②プレスリリース配信時のキーワードに『観光復興ガイド』を設定。

お申込みURL：

<https://tayori.com/form/41800a312861a297f29dc0be1e7904040221c288>

※PR TIMES ご利用には企業登録(無料)が必要となります。

プレスリリース作成にあたってのポイントは、オンライン説明会や広報PRのナレッジシェアメディアPR TIMES MAGAZINEの特集記事でもご紹介します。

●PR TIMES MAGAZINE

「観光関連のプレスリリース、今どう発信すべき？事例や注意すべきポイントを紹介」

<https://prtimes.jp/magazine/guide-to-tourism-reconstruction/>

プロジェクトチームからのメッセージ

プロジェクト発起人：一般社団法人 **FUKKO DESIGEN** 理事 / **TBWA HAKUHODO** 木村充慶

企業や行政、団体などの有志が集まって復興支援をお手伝いする一般社団法人です。テレビ局、広告会社、百貨店、Web制作会社、コンテンツホルダー、自転車ブランドなど様々な企業や団体のメンバーが参画しています。今回、これまでの支援の活動でお世話になった方々にお声がけし、様々なメンバーのアドバイスをいただき、全体の監修をしました。コロナ禍で困っている観光従事者の方々にとって、状況が少しでもよくなるヒントとなれば幸いです。

これから夏を迎え、本格的な旅行シーズンが到来します。また、政府が推し進める国内旅行需要喚起策「Go To トラベル」も夏中盤にスタートする予定で、多くの国民が旅行を計画する機会となります。しかし、コロナ禍のために、まだまだ安心して旅行を楽しむ雰囲気は醸成できていません。これまでの自粛から復活するためには、既存の方法に捉われず、新しい様式での観光施策を積極的に実践していく必要があります。このたび私たちがまとめた「観光復興ガイド」が観光に携わる方々にとって少しでも支援になれば幸いです。



株式会社 **TBWA HAKUHODO** メンバー一同

今まで観光業の復興支援を行ってきたこともあり、観光に携わる様々な方々から、今後観光業の復活のためにはどのようにしていけば良いのか質問を受けました。先が見えないため正直私たちもわからない部分が多いですが、これからの観光についてわかりやすい指針がないのだと感じました。政策提言や未来の兆しについてのまとめは多く出ていましたが、本当に困っている観光従事者に対して向き合うものがない。それならば私たちが作ろうと思い、社内の有志で立ち上がりました。ソーシャルボイスの分析を行っているメンバー、事業のコンサルティングを行っているメンバー、そして、広告の企画を考えるプランナーやデザイナーなどが集まり、短い期間ながら一生懸命作り上げました。

普段は大企業を相手にしているため不慣れな部分もありますが、各地で観光に携わっている方々のアドバイスを受けながら、観光地の最前線で働かれています方々にとって気づきがあるものになったのではないかと考えています。もちろん、これですべてが解決できるとは思っていないですが、困っている方々に見ていただき、少しでも良い方に向かえば嬉しいです。



株式会社 **PR TIMES** 一同

懸命に行動し続ける身近なヒーローの情報を届けたい、そして、その行動が復興の足がかりになるよう、広く知らせて利用者や協力者が集まるお手伝いをしたい、そう考えています。広く知らせる方法はSNSだけではありません。プレスリリースという、報道機関と一般生活者の両者に向けて発表する方法があり、誰にでもニュースの主役になれる可能性が開かれています。

この観光復興ガイドとの出会いから始まる新たな企画の発表に、PR TIMES 特別プランをご活用いただき、プレスリリース発信いただきたいと思っています。

皆様の行動が、より広く伝わり、人の心を揺さぶり、少しでも多くのお客様が戻りますように。私たちにできるお手伝いをさせていただきます。



プロジェクトチーム紹介

【株式会社 **TBWA HAKUHODO** (TBWA 博報堂) について】

2006年に博報堂、TBWA ワールドワイドのジョイントベンチャーとして設立された総合広告会社です。博報堂のフィロソフィーである「生活者発想」「パートナー主義」とTBWAがグローバル市場で駆使してきた「DISRUPTION®」メソッドを中心とした独自のノウハウを融合。質の高いソリューションを創造し、クライアントのビジネスの成長に貢献します。

「DISRUPTION®」は既成概念に縛られず、常識を壊し、新しいヴィジョンを見いだす TBWA HAKUHODO の哲学です。マーケティングに限らず、ビジネスにおけるすべての局面でディスラプションという新しい視点を武器に事業やブランドを進化させるアイデアを生み出します。

<http://www.tbwahakuhodo.co.jp>

●65dB TOKYO

「65dB TOKYO」は、TBWA HAKUHODO にて 2019 年より本格稼働しているマーケティング組織です。ソーシャルリスニングを用いた独自のソーシャルボイス分析手法やインサイト発見のプロセスを用いて、企業やブランドによる生活者の理解を促進し、現代の生活者のニーズに即したマーケティング施策立案を支援しています。

<http://65db.jp/>

●Disruption® Consulting

Disruption® Consulting は、『Disruption®(創造的破壊)』をフィロソフィーとしている TBWA HAKUHODO が 2018 年に設立したコンサルティングユニットです。既成概念を覆す「Disruption®メソッド」を用いて企業の新しい成長領域を生み出し、ビジネスおよびブランド戦略の立案をサポートする組織として、広告会社の新しいビジネスモデルを確立してきました。

<https://www.disruption-consulting.com/>

【一般社団法人 FUKKO DESIGN について】

一般社団法人 FUKKO DESIGN は、「民間ビジネスの力を結集して新たな“復興”をつくる」を活動テーマに、平時のときから行政、民間企業、メディアとのネットワークを構築し、有事の時にすぐにサポートする体制をつくるほか、有事の際の被災地に関する情報発信の支援、復興タイミングにおける地域の魅力発信、企業のマッチングサポート支援などをトータルにデザインしていく団体として活動しています。

<https://fukko-design.jp/>

【株式会社 PR TIMES について】

「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>)を運営しています。2007 年 4 月のサービス開始より、報道機関向けの発表資料(プレスリリース)をメディア記者向けに配信する機能と、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載する機能をセットで提供してまいりました。利用企業数は 2020 年 6 月に 4 万社に到達、国内上場企業 40%に利用いただいています。情報収集のため メディア記者 1 万 7000 人に会員登録いただいています。サイトアクセス数も伸長しており、2020 年 5 月に 月間 5200 万 PV を突破しました。配信プレスリリース件数も増加しており、2019 年 10 月には過去最高の 月間 1 万 5000 件を超えています。全国紙 WEB サイト等含む パートナーメディア 198 媒体にコンテンツを提供しています。

また、クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施や、ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」の運営、動画 PR サービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」の提供、タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」やカスタマーサポートツール「Tayori」の運営、スタートアップメディア「BRIDGE」等のメディア運営も行っています。



●コロナ禍の小規模事業者を PR で導く「4 MEETS プロジェクト」を実施しています

2020 年 5 月 1 日より、小規模事業者と PR のプロの出会いを生み出し、小規模事業者が無料で PR のプロの相談を受けることができる「4 MEETS プロジェクト」を開始しています。

4 MEETS プロジェクト - 出会う PR - : <https://tayori.com/faq/4meets>

プロジェクト開始より約 2 か月経過し、「そもそも何をしたらいいかわからない」「手を付けるものもわからないけど...」といった相談が多く寄せられていることがわかりました。そういった相談に対しても、ゼロベースで相談に乗り、長期に渡り、より寄り添った支援を行うことができるよう、6 月 29 日には長期サポート版を発表しました。

4MEETS プロジェクト長期サポート版について当社プレスリリース発表

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001008.000000112.html>

「観光復興ガイド」を通じて、何かを始めたいと思った方は、そのアイデアを PR のプロと共に磨き上げていただくことも可能です。

お申込みは下記より、

<https://tayori.com/form/f70191026d8ab1b27fe9c7486826d86e8a384eaf>

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション： 行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ
 会社名： 株式会社 PR TIMES (東証一部 証券コード：3922)
 所在地： 東京都港区南青山 2-27-25 ヒューリック南青山ビル 3F
 設立： 2005 年 12 月
 代表取締役： 山口 拓己

事業内容： - プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>)の運営
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>)の運営
 - 広報・PR の効果測定サービス「Web クリッピング」(<https://webclipping.jp/>)の運営
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
 - 動画 PR サービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」(<https://prtimes.jp/tv/>)の運営
 - カスタマーリレーションサービス「Tayori」(<https://tayori.com/>)の運営
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>)の運営
 - スタートアップメディア「BRIDGE」(<https://thebridge.jp/>)の運営、等

URL： <https://prtimes.co.jp/>